

## 平成28年度 第29回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成29年1月25日(水) 14:35～

場所：理学部 E211 講義室

講師：加治木 泰範 先生 (数理分子生命理学専攻

クロマチン動態数理研究拠点・研究員)

演題：有機化学的アプローチによるワクチン開発研究

要旨：人為的に免疫反応を誘導して、感染症の予防や癌などの疾患治療に用いる手法の一つにワクチン療法があります。一般的には抗原物質(死滅・弱毒化した病原体、またはその抗原部分等)を投与することにより抗体産生を誘起し、病原体あるいは癌などを攻撃することにより疾病の予防あるいは治療をおこないます。しかし、抗原成分のみでは有効な免疫反応を誘導できないことが多く、また死菌体や弱毒化した病原体の投与は重篤な副作用や感染の恐れがありました。そのため、有効なワクチン開発において、多くの場合に免疫アジュバント(Immunologic Adjuvant)と呼ばれる抗体産生能を向上する物質が用いられます。本セミナーでは主に有機合成による抗原や免疫アジュバントの創製、ワクチンの開発について最近の研究を紹介します。